

目 次

1. 序論	1
2. 港湾統計の概要	1
2.1 概要	1
2.2 海上出入貨物の集計手順	2
2.3 平成11年改正	3
2.4 その後の改正	4
3. フレートトンベースでの経路算定	4
3.1 算定の考え方及び結果	4
3.2 全国計の算定結果	4
3.3 データ取得状況についての推察	5
4. TEUベースでの経路推計	6
4.1 TEUベースで推計を行う意義	6
4.2 推計手法	6
4.3 フレートトン/TEUについての考察	7
4.4 推計結果の検証	7
5. 全国輸出入コンテナ貨物流動調査との比較	9
5.1 全国輸出入コンテナ貨物流動調査の概要	9
5.2 港湾別・輸出入別海外フィーダー率の比較	10
5.3 全国の海外フィーダー率の比較	12
5.4 時系列での海外フィーダー率の変化	13
6. データ取得率の向上に向けて	14
6.1 データ取得状況の分析	14
6.2 最終船卸・最初船積国データ取得方法の一案	15
6.3 データ取得方法の簡素化・効率化の動き	15
7. 結論	16
謝辞	17
参考文献	17
付録	18

